

## 第3編

# 生き活きと子どもが育ち、 学びが豊かな心を育むまち

家庭・地域・学校がともに手を携え、子どもの成長を支えることで、子育て家庭や周囲の人々も生き活きと暮らせるまちづくりをすすめます。

学校では、子どもたちが意欲を持って学び、豊かな社会性を身に付け、心身ともに健やかに成長できるよう、学校教育を充実していきます。

また、市民の誰もがスポーツや学びを通して豊かなつながりを育んでいけるよう、生涯学習を推進していきます。さらに、文化の振興をはかるとともに、次世代へ継承していきます。

第1編 みんなで担う公共と協働のまち

第2編 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

第4編 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第5編 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

第6編 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

## 第3編の内容

### 第3編 生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

#### 第1章 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

第1節（施策17） 子育て・子育て支援の充実

第2節（施策18） 地域で子どもを育てる環境づくり

#### 第2章 未来をひらく子どもを育てる教育

第1節（施策19） 生きる力を育む学校教育

第2節（施策20） 地域とつながる学校づくり

第3節（施策21） 学びやすい教育環境づくり

#### 第3章 学びを活かせる生涯学習の推進

第1節（施策22） 市民がつながる生涯学習

第2節（施策23） 誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション

#### 第4章 未来につながる文化の継承と創造

第1節（施策24） 豊かな心を育む市民文化の振興

第2節（施策25） 市民が誇れる歴史と伝統文化の継承

第3節（施策26） 多様な文化交流の推進

# 子育て・子育て支援の充実

## 目指す姿

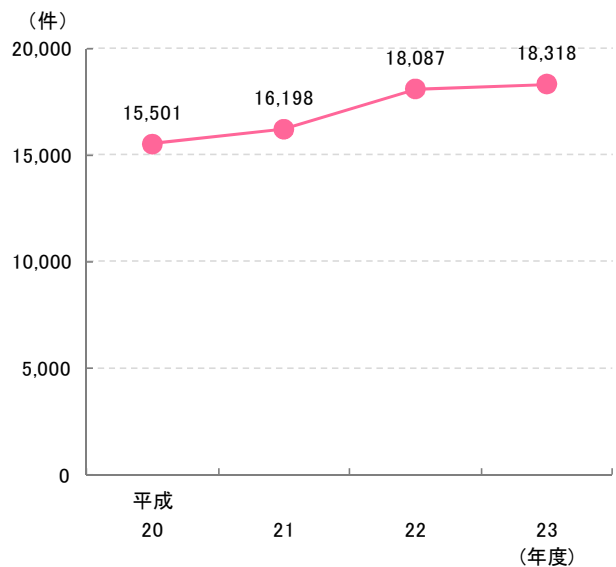
安心して子どもを生み、育てやすい子育て・子育ての支援体制が整っており、子どもとその家族が生き活きと暮らしています。未来を担う子どもたちが尊重され、心身ともに健やかに大人へと成長していきます。

## 現状・課題

- 景気の低迷や核家族化・未婚化・晩婚化などが複雑に絡み合い、社会環境が変化している中で、子どもを望む人が生み育てづらい状況が生じ、少子化がすすんでいます。
- 乳幼児期・学童期・青年期と子どもの成長段階によって様々な支援がありますが、切れ目のない対応が求められています。
- 市は児童虐待の対応に努めていますが、児童虐待の認識が社会に浸透したことなどにより、通報件数が増加傾向にあります。
- 保育ニーズの多様化とともに保育を必要とする子どもが増加しています。そのため、一時保育や障害児の保育など保育サービスの拡充や待機児童の解消が求められています。
- 父親の子育てへの参加が増えつつあります。今後も家族皆で子育てを楽しめるよう、仕事と生活の調和をすすめるための支援が重要となっています。
- 子どもがインターネット犯罪に巻き込まれるなど、青少年を取り巻く環境が変化しています。そのため、青少年の健全育成に向けた取組が必要とされています。

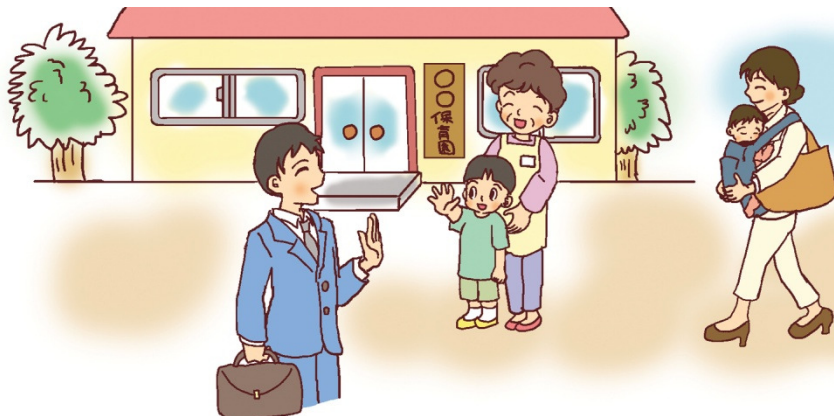
## データ

■子育ての悩みに関する相談件数



## 関連する個別計画・条例

こども育成計画、ひとり親家庭自立支援計画、地域福祉計画、子ども家庭支援センター条例 など



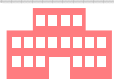
## 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

### 1 子育て支援

- 学校や行政・民間における様々な子育て機関と家庭が連携し、情報の共有化を行うことにより子育て支援を充実します。
- 子ども家庭支援センターを核として様々な機関と連携をはかり、予防を含めた児童虐待の対応を強化します。
- 子育てに関する様々な親子の問題を未然に防ぐため、母子保健と連携し早めの対応を行います。
- ひとり親家庭や子育てに困っている家庭への適切な支援を行います。
- 子どもとともに親自身も成長することができるよう、子育て講座などの開催や相談・情報提供などの支援を充実します。
- 子どもを育てる喜びを家族で分かち合うため、男性の育児参加の推進やワークライフバランスの啓発などを行います。
- 乳幼児・学童の保育所において多様化する保育ニーズを適切に把握し、良質な保育環境の確保と待機児童解消の取組をすすめます。
- 人間形成の基礎を育む幼児期の教育について適切な支援を行います。

### 2 子育て支援

- 子ども自身がいじめや交友関係などの悩みを相談しやすい環境を整えます。
- 幅広い世代の様々な人々との交流を通して、「人とのつながりを大切にできる心」を持った子どもを育成します。
- 被虐待児・障害児など、支援を必要とする子どもたちが健やかに育つための支援を充実します。
- 携帯電話やインターネットの普及といった情報化社会への対策や、引きこもりや非行からの立ち直り支援など、青少年の健全育成に向けた取組を充実します。
- 青少年の健全育成活動の拠点として児童館機能を充実します。



#### 行政の役割

- ◇ 関係機関の連携強化による子育て・子育て支援の充実
- ◇ 児童虐待の予防と対応の強化
- ◇ 男性の育児参加とワークライフバランスの推進



#### 市民への期待

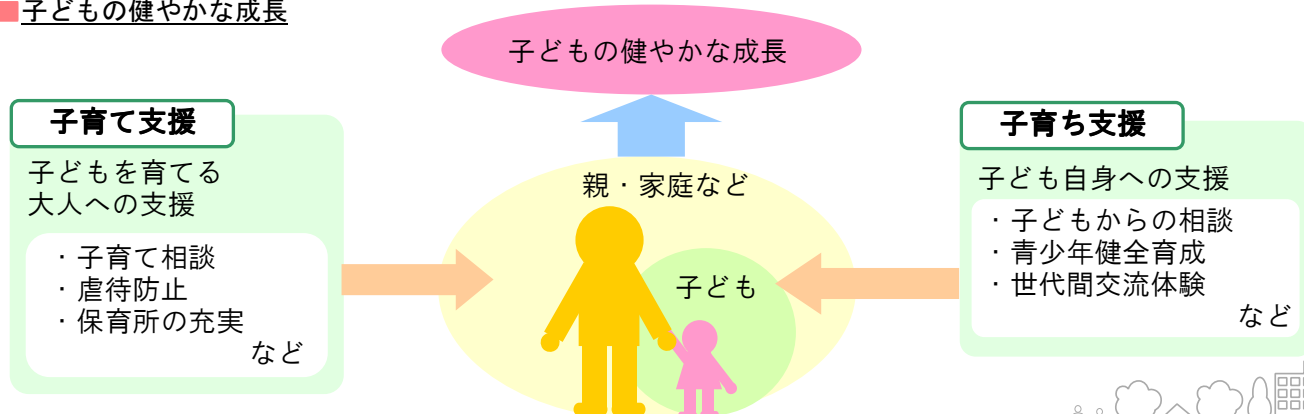
- ◇ 子ども自身が様々な人とふれあい、体験活動にチャレンジする
- ◇ 交流の場への参加など子育てを通じて親同士が交流する
- ◇ 親としての責任を持つ
- ◇ 夫婦で協力し合いながら子育てをする

#### 目標設定

施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成 29 年度	平成 34 年度
安心して子育てができていると感じている市民の割合	19.5% (平成 22 年度)	40%	60%

子育て・子育て支援体制の充実度を測る指標です。10 年後には 5 人に 3 人の方が安心して子育てができていると感じていることを目標とします。

#### 子どもの健やかな成長



# 地域で子どもを育てる環境づくり

## 目指す姿

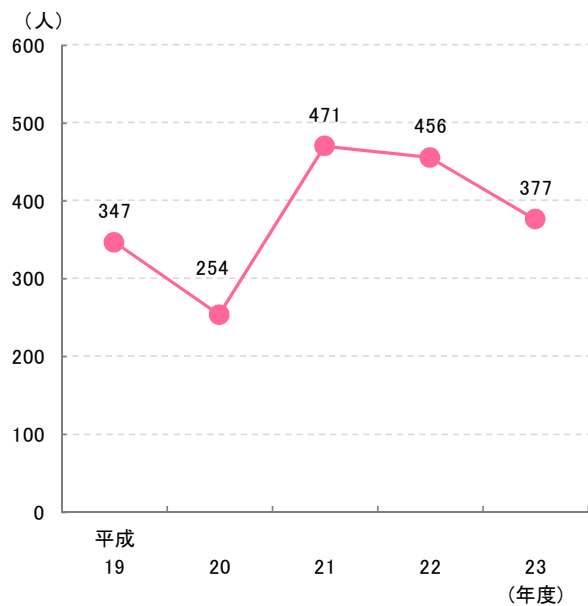
安心して子育てができるよう、地域全体で子育て家庭や子どもの育ちを支えています。子どもたちは地域の一員として様々な人とかわりながら、多様な価値観を学び大人へと成長していきます。

### 現状・課題

- 地域のつながりの希薄化により、身近な人に相談できる機会が少なくなり、子育てに孤立感や不安感を持つ家庭が多くなっています。
- 子ども自身も地域の人々とかかわる機会が減少しています。そのため、子どもが郷土への愛着を持てるよう地域の人々に見守られながら活動できる環境が必要です。
- 市は平成 18 年度に地域ぐるみで支えあう子育てボランティアの仕組みとして「子育て応援団 Bee ネット」をつくりました。このような地域で子育てを手助けしてくれる人の育成や、手助けを必要としている人とをつなぐ仕組みの充実が求められています。
- 子育てに関する様々な団体が活動しています。今後はそれぞれが連携し、子どもの健やかな成長を支えるためのネットワーク化をはかる必要があります。

### データ

■子育て応援団 Bee ネット登録者数



### 関連する個別計画・条例

こども育成計画、地域福祉計画、  
 子ども家庭支援センター条例 など



## 施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

### 1 親や子どもが育つ場の充実

- 中高生も含めた子どもたちが地域の中で幅広い世代の様々な人々とふれあい、多様な体験ができるよう支援します。
- 子育て家庭の孤立化を防ぐため、親同士や子育て経験者との交流ができるような親子のための居場所づくりや、親子で外出しやすい環境づくりを支援します。
- 子どもたちが健やかに育つよう、学校施設などの既存の施設を活用し、安全・安心な子どもたちの遊び場や居場所づくりをすすめます。
- 青少年健全育成活動団体や子ども会等が行う社会奉仕活動や自然体験活動などの様々な活動を支援し、子どもの「人とのつながりを大切にする心」や社会性・自立性を育みます。

### 2 地域のネットワークづくり

- 地域住民や事業者による見守りなど、市民による様々な子育ての取組を支援します。
- 地域の中で相談しやすい体制を整えるなど、子育てに関する問題を地域で解決するための支援を行います。
- 子育て機関や市民活動団体・事業者などが連携し、子どもの健やかな成長を支えるためのネットワークを構築することで、一人ひとりの子どもの成長を連続的にとらえ、地域ぐるみで継続的に支援できる体制を整えます。



#### 行政の役割

- ◇ 親子の居場所づくりや親子で外出しやすい環境の整備
- ◇ 青少年健全育成活動団体や子ども会等への支援
- ◇ 地域ぐるみで子育てを行う体制の整備



#### 市民への期待

- ◇ 親子でイベントに積極的に参加する
- ◇ 親子で参加しやすいイベントを開催する
- ◇ 子育て家庭に見守りや声掛けを行う
- ◇ 子ども連れの人を利用しやすい環境を整える（事業者）
- ◇ 子育てしながら働きやすい環境を整える（事業者）

### 目標設定

施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成 29 年度	平成 34 年度
子どもたちが地域の人に見守られながら成長していると感じている市民の割合	32.7% (平成 22 年度)	40%	60%
子育て応援団 Bee ネットの登録者数	377 人 (平成 23 年度)	480 人	570 人

地域全体で子育て家庭や子どもの育ちを支える環境の実現度をはかる指標です。10 年後には 5 人に 3 人の方が地域の人に見守られながら子どもが成長していると感じていることを目標とします。

子育てに関する地域のネットワークの充実度をはかる指標です。身近な地域で子育てを応援するボランティアの登録数を 10 年後には現状から約 5 割増とすることを目標とします。

#### ■ 地域で子どもを育てる環境

